

団体（三宅村）

三宅村

三宅島パッションフルーツ 生産部会



1：主な販売品目

農産物名	希望取引時期
パッションフルーツ	6月～9月末

2：販売場所

- ・三宅島ファーマーズマート（三宅島農業振興会）
- ・いきいきお魚センター
- ・その他島内商店
- ・個人販売(電話、FAX、WEB 注文)

3：三宅島パッションフルーツについて

(1) 三宅島パッションフルーツの歴史と、部会の設立

三宅島では、2000年の噴火災害により全島民に避難指示が出されました。2005年には避難指示が解除され、島民は帰島したものの、絶えず噴き出す火山ガスの影響で特産品であった切葉類も出荷量が激減しました。

その中で、火山ガスに強く、観光シーズンに販売できるパッションフルーツに注目が集まり、導入することとなりました。2012年に5件の農家で三宅島パッションフルーツ生産部会を設立し、今日まで活動を続けています。

(2) 生産技術や品質の向上

三宅島は風が強いため、施設栽培でパッションフルーツを生産しています。部会設立当初の生産面積5aほどでしたが、東京都の補助事業を活用し、耐風強化型ハウスの整備を進め、現在は約34aとなっています。

当部会では毎月行われる定例会や、普及指導員の巡回指導により、生産技術の向上や改善に努めています。また、部会で等級規格表を定め、目合わせ会を実施することで、出荷する果実の品質を統一するよう取組んでいます。

部会員の多くは施設での平棚仕立てで生産しています。整枝作業に時間をかけ、果実ひとつひとつ丁寧にネットをかけて優しく収穫するなど、手間暇をかけた三宅島のパッションフルーツは、甘みと酸味のバランスの良さが特徴です。ぜひ一度、お召し上がりください。



(3) 販売促進の取組

生産したパッションフルーツは、各部会員への電話、FAX、メールや販売サイトなどによる個人注文の他、島内の農産物直売所や島内商店に出荷しています。近年は島外への販売にも力を入れており、加工業者や都内飲食店に向けた加工用出荷、道の駅や百貨店の果物売り場への生鮮出荷をしているため、都内でも三宅島パッションフルーツを見かける機会は増えています。

また、部会ではオリジナルデザインの出荷箱やシール、パンフレット等を作成し販売に利用しているほか、島内イベントでは、部会で製造したジュースを出店で販売するなど、認知拡大に向けたPR活動も行っています。



部会オリジナルの出荷箱



展示会でのPR活動

(4) ブランド化に向けた取組

当部会では、一般社団法人三宅島農業振興会と提携して、三宅島のパッションフルーツのブランド化に取り組んでいます。

島民から愛されるブランドを目指して、2024年に島民や島の小中学校、高校からブランド名を公募し、「三宅島パッションフルーツ とろびか丸」という新しい愛称が生まれました(2024年団体商標登録を出願)。

(5) 環境にやさしい農業を目指して

当部会では、牛糞やバーク堆肥、緑肥等の有機質肥料を用いた土づくりにより、化学合成肥料の削減を目指しています。また、防虫ネットや天敵農薬などによる総合的防除で、化学合成農薬の削減に努めています。

4 : 連絡先

(1) 電話番号 090-7802-3546 (会長 前田洋一)

(2) Eメール miyakepassionbukai@gmail.com



島内イベントでは、パッションジュースや加工品を販売しています。



定期的に圃場巡回を行うことで、生産技術の向上に努めています。